

あなたの余暇を みんなのために！

来所の方のお話相手や、あたたかい目での見守り、折り紙やお絵かき、イベントのお手伝いなど、一緒に楽しんでいただければと考えています。経験のない方、年配だけど元気な方。若いけど福祉的なボランティアがしたい方など。本格的な介護やお世話は、プロのスタッフがいたしますので、安心してご登録ください！あなたのやさしさが支えになるボランティア。ぜひ、一緒に心豊かな毎日を！



千春会ボランティアスタッフ募集

・デイケアセンター
・デイサービスセンター 友岡
・デイサービスセンター 滝ノ町
・千春会介護複合施設 上植野
(デイサービスセンター・ショートステイ)
※曜日・時間等詳細は
ご相談ください
お問い合わせ・お申し込み先
TEL075-954-2175 担当：管理部 山田



welcome!
ようこそ!

千春会病院の見学にどうぞ いつでもお気軽に！

千春会病院はいつでも、どなたでも見学OK！
「どんな病室？」「どんな設備？」「雰囲気は？」など、とにかく見ていただくのが一番。
地域連携室のスタッフが、笑顔とともに院内をご案内いたします。
「院内見学」で良質かつ、確かな医療を実感してください！



●お問い合わせ・お申し込み先
TEL 075-954-2175 担当：地域連携室 岩永

応援中

千春会では、障害者の方々の入職（4名）や体験などを受け入れ、自立を支援しています。
社会人として、継続的な自立のためには、日常業務に携わることが大切です。
千春会に入職されたみなさんは、障害はあっても、毎日、大勢の仲間と囲まれて、楽しく仕事に励んでおられます。

編集後記

わかりやすく！読みやすく！
いつも身近に「千春会」を感じていただきたい・・・
そんな思いを込め、季刊誌「せんしゅん」をリニューアルしました！
これからも、皆さまのご意見を頂戴しながら、
より良き情報を発信していきたいと思ひます。
「挑戦し続ける千春会」・・・
今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。（弘）

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、適正な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります（インフォームドコンセント）。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります（セカンドオピニオン）。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また適正な医療と良質な看護を公平に受けていただくために、
患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院
千春会病院
〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL (075)954-2175 FAX (075)955-4615

2008年5月号 Vol. 7 （2008年5月1日発行）

せんしゅん

ホームページアドレス <http://www.senshunkai.or.jp/>



- 理念の変更
- 「不適合」指摘なし（ISO審査受審）
- 教えてドクター（C型肝炎について）
- おくすりの話
- 言語聴覚士が千春会に！
- オープン5周年・・・デイサービスセンター滝ノ町

長岡天満宮
八条ヶ池を彩るツツジ

理 念（3つの使命）

- 1 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
- 2 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
- 3 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

医療法人社団 千春会

チャレンジし続ける「千春会」

理念変更のご報告 「適正な医療」から「良質な医療」へ

平成20年4月1日より、千春会法人理念（一部）を「適正な医療と良質な看護・介護を提供する」から「良質な医療・看護・介護を提供する」へと変更いたしました。



理事長 菊地 孝三

日々、進化する医療・看護・介護。時流の中にあることは、当院でも、比較的最近まで、転院を中心とする長期入院の患者様が多数でした。しかし、今では、医師・看護師・コメディカル・MSW・医事課等の充実により、地域の方々の入院が飛躍的に増え、以前から目指していた「地域一般病院」としての地位が確立されてきました。

このような状況の中、「適正な医療」は当然の事とし、より一層、質の高い、すなわち「良質な医療」を目指すため、今回、理念の変更となったものです。

今、政府は医療費適正化計画（5カ年計画）と称して医療費の削減を、地域ケア整備構想により療養病床の大幅な削減を進めています。

政策目標としては、特定健診などの疾病予防と、病院における平均在院日数の短縮が掲げられました。さらに、地域において病院の機能分担も進められています。

そうした流れの中、当院としては、地域で必要とされる医療の提供のため、急性期一般病院として機能するべく、平成20年3月末をもって障害者病床を返上し、同年4月より、すべての病床を一般急性期病床として届け出をしました。

一般病床入院基本料、看護基準10対1の場合、平均在院日数21日以内が求められ、現在、職員全員の努力と協力を得て、取り組み、目標達成がなされているところです。

もう一方の政策目標である、生活習慣病の予防ですが、メタボリックシンドロームに特化した特定健康診査・特定保健指導が4月より実施されました。当院でも診査・保健指導を受託し、人間ドックアドバイザーの資格を持った医師（4名）を筆頭に、3名の管理栄養士が対応します。その他、新たな高齢者医療制度（後期高齢者医療制度）の創設や保険者の再編など、多くの改正が行なわれ、医療を取り巻く情勢は、ますます激しい変革の波にさらされています。

今後、法人としては、地域における役割を十分に認識し、地域の病院・医院ならびに介護部門との連携をしっかりと充実させていかなばなりません。医療部門として、検診センター等の開設、リハビリや訪問看護ステーションをはじめとする在宅医療支援機能の充実を目指します。さらに、介護部門も各事業所の機能分化を進め、認知症サービスや、有料老人ホーム設立等、利用者様にとって、必要な事業の提供をしていく必要があります。

日本初の有人宇宙ステーションの名は「きぼう」。スペースシャトル・チャレンジャー号で飛び立ちました。「チャレンジする者には希望の道が開ける」。つまりは、挑まなければ希望は見えないということです。

これからも「千春会」は、まさに「挑戦し続ける法人」であり続けます。

報告

ISO サーベイランス審査を受審しました

「不適合指摘なし」
の素晴らしい評価獲得！

3月12～14日の3日間、外部審査員による中間審査を受審しました。

病院、各事業所、それぞれの担当者は、熱心に、そして真摯に審査を受審。

組織・品質改善のルール・品質管理の目標・職員の教育研修などにつき、厳密な審査がなされました。

おかげさまで、「不適合」指摘なし、観察事項2点のみという、素晴らしい結果を得ることができましたことを、ご報告させていただきます。

サーベイヤーからは、「理念に掲げる『良質』というのは、品質マニュアルの要求事項の向こうにあるプラス

アルファであり、千春会の皆さんは、すでにそれを体得しているように思います。

今後は、現場のよいところを活かしつつ、それをシステムとして形に残していく方法を検討してください。全体として非常に順調に活動されておられます」とのお言葉をいただき、大変、高い評価を獲得いたしました。

これからも、良質な医療・看護・介護をめざし、常に患者さま・利用者さまを第一とし、地域の方々が気軽に利用できる「信頼ある、かかりつけ病院」・「信頼ある、介護サービス」として職員一同、努力してまいります。



C型肝炎について

消化器内科
金光 宣旭 先生



最近話題のC型肝炎について今回はお話しします。C型肝炎の保有者は日本に現在約170万人いると言われています。C型肝炎に汚染した血液や血液製剤の投与が主な感染源とされていますが、1993年以降の輸血はすでに対策されているため感染のリスクは少ないです（現在、輸血でC型肝炎が感染する可能性は0.1%以下）。日常生活ではカミソリなどの血液が付着する可能性があるものさえ共用しなければ大丈夫であり、性交渉でも感染は極まれです。

ただ、いったん感染してしまうと、約70%が慢性C型肝炎に移行します。

C型肝炎感染後、急性期を過ぎるとしばらくの間、自覚症状はなく、ゆっくりと肝臓は傷つけられ肝炎は進行します。

そして肝硬変になって初めて黄疸や浮腫（むくみ）などの症状が出現します。そのため自覚症状がない間に治療を受けることが大切です（慢性C型肝炎から肝硬変に進むにつれ、肝臓癌の合併も高くなると言われています）。（参照→）

感染



急性肝炎

慢性肝炎

約15年で肝硬変に

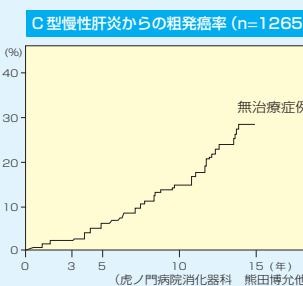


肝硬変

約15年で肝ガンに

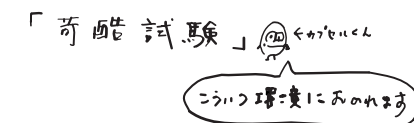


肝臓ガン



慢性C型肝炎の治療は、現在、主にインターフェロンと抗ウイルス薬の併用療法により行われています。その効果は、以前治ることが難しいとされていた方にも約50%の治癒率があるとされており、かなりの効果が望めます。C型肝炎の診断や進行度は血液検査や腹部エコー・CTで簡単に行うことができます。もし気になる方がいらっしゃれば、当院スタッフに気軽に声をかけてください。

「薬の使用期限はあるの…?」
これは私たちがよく窓口で受ける質問です。
結論から言うと、薬にも食べ物の賞味期限や消費期限と同じように使用期限があります。
薬の使用期限というのは、製薬会社とその薬の発売前に、通常の環境で長期保存してみるのはもちろん、苛酷試験といて、あえて悪条件でテストを行い、その薬が安定しているかどうかを確認した上で決められています。室温に保存して大丈夫か、冷蔵庫内の方が良いか、光をささげ置いていた方が良いかなども、そこで決まります。
この使用期限は、薬を適した環境で保存した場合の期限になります。患者様にお渡しするまでは、薬局で適切に保管しておりますが、お渡しした後は、どのような状況におかれるのかわかりません。また、食品と同じく未開封での期限となりますので、処方された日数以上に保管することは避けていただくようお願いいたします。



リハビリテーション充実！ 言語聴覚士（ST）が千春会に

★本年2月から、
スピーチセラピストとも呼ばれる「言語聴覚士」（ST）が、
リハビリテーションの新たな力となりました。

●言語聴覚士（ST）って？●

ある日突然、脳の損傷（病気やケガ、発達障害や加齢など）により、話せない、ろれつがまわらない、食事が飲み込めないといったことが起こります。その際、リハビリを通して、患者様とご家族の生活を支援していく、国家資格を有する専門職が「言語聴覚士」（ST）です。

ちょっとインタビュー

まず、どんな方を訓練（リハビリ）をされるのか、お聞きしました。
小児から成人まで、聴覚障害・音声障害・構音障害・高次脳機能障害などが対象だそうです。

☆ 言語聴覚のリハビリとは？

失語症の場合、検査で理解力・表出力を把握し、絵カードや文字カードを使って、言葉を操りやすくなるように訓練していきます。嚥下障害では、舌や口唇・喉の動きや食事の状況などを評価。食物を使用しないで機能改善を図る間接訓練、実際にその方に適した食事や食べ方などの直接訓練も行います。

☆ 全員で「力と心」をあわせ！

「コミュニケーション障害や嚥下障害に関しては、セラピストだけでは十分なリハビリができません。病棟との連携・協力があってこそ、初めて患者様の様子がわかり、その方にあったきめ細かな専門的サービスが可能なんです」と、言語聴覚士の車谷さん。

千春会は今、心を一つにしたリハビリテーションでサポートしています。



気軽に相談を！

「話す・聴く・読む・食べる」など、コミュニケーション障害や食事の障害は、なかなか理解されにくいものです。

千春会では、そのような方を対象に「言語聴覚士」が、改善（リハビリ）をお手伝いさせていただいております。

患者様もご家族も、多くの不安を抱えておられることでしょう。できるだけ早く負担を改善するよう、専門家として、しっかりサポートさせていただきます！ぜひ、お気軽にご相談ください。



リハビリテーション科に
新設された
言語聴覚訓練室

言語聴覚士 車谷暁子

ここに響く介護があります 介護部門からのお知らせ

千春会では、介護の必要な方に適したさまざまな介護サービスを提供しております。お気軽にご相談ください。

ホームヘルプ事業部 フリーダイヤル 0120-21-8599

千春会居宅介護支援事業所
せんしゅんかい訪問介護センター
せんしゅんかいデイケアセンター
せんしゅんかいデイサービスセンター友岡
せんしゅんかいデイサービスセンター滝ノ町
せんしゅんかい訪問介護センターみなせ
千春会 介護複合施設 上植野

デイサービスセンター滝ノ町

デイサービスセンター滝ノ町がオープンして、はや5年。
地域の皆様に支えられ、さまざまに取り組み、努力してまいりました。



- ・生きがいとなる「場所づくり」
ー 楽しい仲間づくり
- ・日常生活自立のための支援
ー 適切なリハビリテーション
- ・ご家族様の介護負担の軽減・相談など



みんなで作る、筒絵作品



おひなまつりでの演奏会

お越しいただく全ての方が、いつも、その方らしく過ごしていただけることを目標に、スタッフ全員が真心を込めてお迎えしています。

「ここに来ると楽しい」
「仲間ができた」
「体操で立てるようになった」
「少し歩けるようになった」など、
ご利用者様のうれしい声、輝く笑顔が、私たちの宝です！



スタッフも、ともに楽しむ毎日

◆在宅で安心なサポートを◆

少しでもご家族の負担を軽減したり、ご相談に応じたり、サポートしていけるデイサービスセンターを目指しています。

看護的処置の必要な方（胃瘻からの注入、酸素療法、気管切開など）の受け入れも、積極的にさせていただいております。

これからも、ご家族の方々とともに「介護」を支え、より質の高いサービスを提供していきます。



主任 瀧本 稚子